

◆実務経験のある教員による授業科目の単位数

| | 文学部 | | 環境共生学部 | | | 総合管理学部 |
|--------|----------|---------|---------|---------|----------|--------|
| | 日本語日本文学科 | 英語英米文学科 | 環境共生学科 | | | 総合管理学科 |
| | | | 環境資源学専攻 | 居住環境学専攻 | 食健康環境学専攻 | |
| 全学共通科目 | 29 | | | | | |
| 学部共通科目 | 16 | | 0 | 0 | 0 | — |
| 学科等科目 | 0 | 0 | 3 | 6 | 40 | 28 |
| 合計 | 45 | 45 | 32 | 35 | 69 | 57 |

【共通教育科目】

| | 授業科目名 | 概要 | 単位数 |
|----|---------------------------------|---|-----|
| 1 | もやいすと(防災)ジュニア育成 | 防災関係機関の講師、熊本地震で被災者支援に携わった教員らが、防災に主眼を置いた地域づくりのキーパーソン育成を指導する。 | 2 |
| 2 | 新熊本学: 熊本の生活と環境 | 県内の研究機関等の第一線で活躍する講師陣が、オムニバス形式で自然環境、農林水産業、食・食生活のつながりを通して熊本の生活と環境について講義する。 | 2 |
| 3 | 新熊本学: 地域のビジネスリーダーに学ぶ | 熊本を代表する企業や組織のリーダーが、オムニバス形式で経営戦略やマーケティングの進め方、リーダーシップのあり方等について講義する。 | 2 |
| 4 | 新熊本学: 地域社会と協働 | 行政機関やNPOなどの第一線で活躍する講師陣が、オムニバス形式で地域社会における協働の取組について講義する。 | 2 |
| 5 | 人権と文化 | 水俣病やハンセン病など具体的で身近な人権問題に取り組む講師陣が、オムニバス形式で人権侵害の事例等について講義する。 | 2 |
| 6 | Performing Arts of Japan(日本芸能論) | 博物館助手等の経歴、博物館学芸員の資格を持つ教員が、自身が統括した企画展等の経験を活用し、日本映画史を講義する。 | 2 |
| 7 | 日本の文化 | 博物館助手等の経歴、博物館学芸員の資格を持つ教員が、自身が統括した企画展等の経験を活用し、日本文芸史を講義する。 | 2 |
| 8 | エネルギーと社会(九州電力協力講座) | 電力企業(九州電力)の第一線で活躍する講師が、現代社会におけるエネルギー問題について講義する。 | 2 |
| 9 | 情報と社会(NTT協力講座) | 情報通信企業(NTT西日本)の第一線で活躍する講師が、現在の情報化社会における基礎技術や最近の情報通信の動向等について講義する。 | 2 |
| 10 | マスメディア論(熊日協力講座) | 報道機関(熊本日日新聞社)の第一線で活躍する講師が、マスメディアに関する知識や情報を読み解く力、文章力の基礎等について講義する。 | 2 |
| 11 | 中国語基礎b | 科目に関連した実務経験のある教員が担当している。 ○科目に関連した実務経験: 博多女子高校(専修)にて「中国文学」/福岡農業高校・新宮高校にて「国語科」非常勤講師として平成2~7年に従事 | 2 |
| 12 | 中国語入門B-b | 科目に関連した実務経験のある教員が担当している。 ○科目に関連した実務経験: 博多女子高校(専修)にて「中国文学」/福岡農業高校・新宮高校にて「国語科」非常勤講師として平成2~8年に従事 | 2 |

◆実務経験のある教員による授業科目の単位数

| | | | |
|----|------------|--|---|
| 13 | 中国語発展 I b | 科目に関連した実務経験のある教員が担当している。 ○科目に関連した実務経験： 博多女子高校(専修)にて「中国文学」／福岡農業高校・新宮高校にて「国語科」非常勤講師として平成2～9年に従事 | 2 |
| 14 | 中国語発展 II b | 科目に関連した実務経験のある教員が担当している。 ○科目に関連した実務経験： 博多女子高校(専修)にて「中国文学」／福岡農業高校・新宮高校にて「国語科」非常勤講師として平成2～10年に従事 | 1 |
| 15 | 食と健康 | 公衆栄養活動、食育活動に従事した経験を有する教員により、実際の生活に活用可能な「食と健康」に関する基礎知識を講義する。 | 2 |

【文学部】

| | 区分 | 授業科目名 | 概要 | 単位数 |
|---|------------|----------------|--|-----|
| 1 | 人文基礎 | 知識と方法 | 博物館助手等の経歴、博物館学芸員の資格を持つ教員が、自身が統括した企画展等の経験を活用し、人文学の研究「方法」と研究対象を巡る「知識」の対話的な関係性を議論する。 | 2 |
| 2 | 学部 共通科目 | 心理学講義 I | 臨床心理士、公認心理師として、医療・教育・福祉現場において臨床経験を有する教員が、実際のカウンセリング場面のVTR視聴を含め、心理療法について講義する。 | 2 |
| 3 | | 心理学講義 II | 臨床心理士、公認心理師として、医療・教育・福祉現場において臨床経験を有する教員が、家族心理学や家族療法について講義する。 | 2 |
| 4 | | 心理学演習 I | 臨床心理士、公認心理師として、医療・教育・福祉現場において臨床経験を有する教員が、事例研究論文や調査研究論文を題材に演習を行う。 | 2 |
| 5 | 学部 共通科目 | 心理学演習 II | 臨床心理士、公認心理師として、医療・教育・福祉現場において臨床経験を有する教員が、事例研究論文や調査研究論文を題材に演習を行う。 | 2 |
| 6 | | 歴史基礎論 | 図書館での勤務経験のある教員が、日本とヨーロッパの古文書や古文書を取り上げながら、歴史史料や歴史学の方法論等について講義する。 | 2 |
| 7 | 日本語教育 | 日本語教育演習 IV(英文) | 日本国内の日本語学校で長年にわたり日本語教育に従事した経験を持つ教員により、語用論の基礎から第二言語学習者の語用論的能力まで、経験と専門的知識に基づく講義が展開される。 | 2 |
| 8 | | 日本語教育演習 IV(日文) | 日本国内の日本語学校で長年にわたり日本語教育に従事した経験を持つ教員により、語用論の基礎から第二言語学習者の語用論的能力まで、経験と専門的知識に基づく講義が展開される。 | 2 |

◆実務経験のある教員による授業科目の単位数

【環境共生学部】

| | 区分 | 授業科目名 | 概要 | 単位数 |
|----|------------------------|-------------|--|-----|
| 1 | 学科等科目 (環境資源学 専攻) | 情報処理実習A | 千葉県職員、水産技術研究所において水産資源の管理に関する実務経験にもとづき、基礎的な情報処理に必要な知識・技術に関する実習を指導する。 | 1 |
| 2 | | 環境衛生科学 | 大学において環境マネジメントシステムの環境管理責任者、特別管理産業廃棄物管理責任者等として、環境管理、実験排水の水質試験及び排水・廃棄物の管理の実務を担当した経験を有し、また、多くの自治体の環境に関する委員の経験を有する教員が、環境管理、上下水道、廃棄物処理、排水し処理、水質および環境分析に関する経験した内容を交え、公衆衛生科学について講義する。 | 2 |
| 3 | 学科等科目 (居住環境学 専攻) | 住空間計画学 | 建築設計事務所の代表であった教員が、その経験を活かして、幸福な生活を送る住空間をデザインするための知識について講義する。 | 2 |
| 4 | | 居住環境デザイン実習Ⅲ | 建築設計事務所の代表であった教員が、その経験を活かして、「戸建て住宅」「集合住宅」に関する製図法、設計手法、コンセプトに関するレクチャーを行う。また、最終成果品としてのプレゼンテーションボード作成まで、エスキスチェック等を重ね、住空間創造に関するデザイン教育を行う。 | 2 |
| 5 | | 居住環境デザイン実習Ⅳ | 建築設計事務所の代表であった教員が、その経験を活かして、情報交流・地域連携施設としての「道の駅」に関する設計手法、コンセプトに関するレクチャーを行う。また、最終成果品としてのプレゼンテーションボード作成まで、エスキスチェック等を重ね、情報交流・地域連携施設創造に関するデザイン教育を行う。 | 2 |
| 6 | | 解剖生理学 | 臨床経験のある医師である教員が、人体を構成する細胞・組織や器官がどのような特性を有し、どのように機能し、最終的にどう統合されて個体を形成していくかについて講義する。 | 2 |
| 7 | | 解剖生理学実験 | 臨床経験のある医師である教員が、生体試料を用いた実験や生理学的な実験、組織標本や臓器モデルの観察・スケッチなどについて講義する。 | 1 |
| 8 | | 生活習慣病予防学 | 臨床経験のある医師である教員が、生活習慣病の概要や関係する法律・制度について講義する。 | 2 |
| 9 | | 臨床医学概論 | 臨床経験のある医師である教員が、病理学の基本である病因、基本的な病変、臓器別にみた特有な病変などについて講義する。 | 2 |
| 10 | | 疾病論 | 臨床経験のある医師である教員が、疾患に特有な症状、合併症・併発症、症例固有の症上等の見分け方などについて講義する。 | 2 |
| 11 | | 生体防御学 | 臨床経験のある医師である教員が、生体防御という観点から、感染症と免疫、アレルギー、自己免疫疾患、中毒、食品と薬品の相互作用などについて講義する。 | 2 |
| 12 | | 実践栄養学総合演習 | 給食経営管理、公衆栄養、栄養教育、臨床栄養の各分野で活躍する管理栄養士の講師陣が、オムニバス形式で現場での問題や解決方法等について講義する。 | 4 |
| 13 | | 給食経営管理臨地実習 | 医療関連施設・学校・事業所・福祉施設などの特定給食施設において、給食の運営に必要な基本的な知識及び技能を学ぶ。 | 1 |
| 14 | | 公衆栄養学臨地実習 | 保健所において、行政栄養士の業務について実習し、保健医療福祉専門職としての管理栄養士の責務・役割を学ぶ。 | 1 |

◆実務経験のある教員による授業科目の単位数

| | | | | |
|----|-------------------------|---------------|---|---|
| 15 | 学科等科目 (食健康環境 学専攻) | 臨床栄養学臨地 実習 | 病院において、給食の運営、患者の栄養評価・栄養管理、病態に応じた栄養ケアプランの作成、栄養指導等の実際を学ぶ。 | 2 |
| 16 | | 公衆栄養学 | 行政栄養士として保健所で勤務した経験をもつ教員が、健康づくり政策、栄養疫学を中心に公衆栄養活動における基本的知識について講義する。 | 2 |
| 17 | | 栄養情報管理学 | 行政栄養士として保健所で勤務した経験をもつ教員が、地域アセスメントの実際や食事調査等のデータ収集・分析方法について講義や演習を通じて指導する。 | 2 |
| 18 | | 地域栄養アセスメント実習 | 行政栄養士として保健所で勤務した経験をもつ教員が、地域で公衆栄養活動を展開する方法についてグループワークや課題発表を通じて指導する。 | 1 |
| 19 | | 臨床栄養アセスメント | 病院で管理栄養士として働いた経験のある教員が、臨床の現場で実施される栄養アセスメントの実際や基本的知識を講義する。 | 2 |
| 20 | | 臨床栄養治療学 | 病院で管理栄養士として働いた経験のある教員が、病態に応じた栄養管理および治療食について基本的知識を講義する。 | 2 |
| 21 | | 臨床代謝栄養学 | 病院で管理栄養士として働いた経験のある教員が、病態により異なる栄養必要量の特徴および治療食の実際について基本的知識を講義する。 | 2 |
| 22 | | 給食経営管理学Ⅱ | 病院で給食経営管理の実務をしている管理栄養士が、実際の特定給食施設での事例を紹介しながら各施設の給食マネジメントや地域(在宅介護)への展開などを講義する。 | 2 |
| 23 | | 給食管理実習Ⅱ | 病院で給食経営管理の実務をしている管理栄養士が、「給食経営管理学Ⅰ・Ⅱ」で学んだ各特定給食施設の事例をもとに、献立展開(個別対応)も含め、給食マネジメント業務の実践を指導する。 | 1 |
| 24 | | 臨床治療食実習 | 病院で管理栄養士として働く講師が、様々な疾患に対する治療食の献立作成から調理技術まで指導をする。 | 1 |
| 25 | | 家庭科教育法Ⅰ | 公立高校家庭科指導教諭であった教員が、学校現場経験に基づき、家庭科教育の歴史的変遷、教育内容、授業形態と指導法、年間指導計画、学習指導案、評価など家庭科の教育・指導法の理解を深める、受講者主体の講義を行う。 | 2 |
| 26 | | 家庭科教育法Ⅱ | 公立高校家庭科指導教諭であった教員が、学校現場経験に基づき、最近の教育状況や、学習者主体の授業、評価など家庭科の教育・指導法の理解を深める、受講者主体の講義を行う。 | 2 |
| 27 | | 調理学実習Ⅰ | 公立高校家庭科指導教諭であった教員が、学校現場経験に基づき、受講者の技術力が効果的に向上する授業・実習計画により、各自の主体性を高めていく実習を行う。 | 1 |

◆実務経験のある教員による授業科目の単位数

【総合管理学部】

| | 区分 | 授業科目名 | 概要 | 単位数 |
|----|-------------------|------------|---|-----|
| 1 | 学科等科目 (総合管理学科) | 地方自治論 | 地方公共団体での勤務経験のある教員が、地方自治の意味合いと現代的な課題について、理論面と実際面の双方から講義する。 | 2 |
| 2 | | マーケティング | メーカーのマーケティング部門での勤務経験のある教員が、その経験を活かして、マーケティングの基本概念や製品開発戦略等について講義する。 | 2 |
| 3 | 学科等科目 (総合管理学科) | 消費者行動論 | メーカーのマーケティング部門での勤務経験のある教員が、その経験を活かして、消費者行動を理解していく知識とスキルについて講義する。 | 2 |
| 4 | | データベース論 | 電機メーカーの研究所での勤務経験のある教員が、その経験を活かして、リレーショナルデータベース管理システムを用いて、データベースの機能と仕組み、そしてその構築法を講義する。 | 2 |
| 5 | | 人工知能論 | 電機メーカーの研究所での勤務経験のある教員が、その経験を活かして、人工知能(Artificial Intelligence: AI)の大要を基礎から講義する。 | 2 |
| 6 | | 社会福祉学 | 高齢者等の福祉に関わる法律関連職の経験のある教員が、社会福祉における当事者理解や制度理解のあり方等について講義する。 | 2 |
| 7 | | 経営学 | 家電メーカーの開発部門での勤務経験がある教員が、その経験を生かして、企業マネジメントに関する事例を交えながら、講義を行う。 | 2 |
| 8 | | 経営組織論 | 家電メーカーの開発部門での勤務経験がある教員が、その経験を生かして、製品戦略をはじめ組織戦略に関する事例を交えながら、講義を行う。 | 2 |
| 9 | | 家族システム論 | 医療や福祉分野の勤務経験がある教員が、システム理論を活用し、家族及び家族がかかえる課題等について、事例を交えながら講義する。 | 2 |
| 10 | | 基礎総合管理実践 | 企業での勤務経験がある教員が、地域の企業の課題解決を実践的に学ぶカリキュラムの中で、企業の実務経験を生かし、課題の捉え方、解決の考え方、組織の動かし方を指導する。 | 2 |
| 11 | | 基礎総合管理実践実習 | 企業での勤務経験がある教員が、地域の企業の課題解決を実践的に学ぶカリキュラムの中で、企業の実務経験を生かし、課題の捉え方、解決の考え方、組織の動かし方を指導する。 | 2 |
| 12 | | 人的資源論 | 家電メーカーの開発部門での勤務経験がある教員が、その経験を生かして、製品戦略をはじめ組織戦略に関する事例を交えながら、講義を行う。 | 2 |
| 13 | | ウェブデザイン論 | 電気通信事業者での勤務経験のある教員が、その経験を活かして、ネットワークの基礎からセキュリティ、土台となる通信の基礎から未来まで、現代社会を支える技術の本質を講義する。 | 2 |
| 14 | | 地域づくりと協働 | 地方公共団体での勤務経験のある教員が、近年の自治行政における基本的な理念の一つとなっている「協働」について、理論面と実際面の双方から講義する。 | 2 |